

科目名	日本の文学	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ)
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)
			全学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
			学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
英文表記	Japanese Literature	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 <input checked="" type="checkbox"/> 4年
ふりがな	はしもと しほ	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	橋元志保	修得単位	2 単位
授業のテーマ	歴史と文学ー人間の真実に触れようー		
授業概要	<p>夏目漱石の言葉を引用するまでもなく、日本の近代化は外発的に始まります。鎖国によって閉ざされていた日本が、国際社会に向かって初めて開かれたとき、日本人たちが見出したものは西洋列強との圧倒的な国力の差でありました。産業革命と共に急速に発展し、アジア各地で植民地を建設する先進国の脅威を常に感じながら、日本の近代化は西洋の「三百年の活動を四十年で繰り返す」勢いで進められたのです。</p> <p>本講義では、国民国家の形成期にあたる近代から、現代にかけての様々な文学や評伝を読み解き、日本及び日本人に関する考察を重ねていきたいと思えます。また、近代日本の夜明けともいうべき時代の息吹を感じてもらいたいと考えています。</p>		
到達目標	日本の近代の歴史、文学、文化について学び、考察できるようになる。		
授業時間外の学習	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業で取り上げる小説や資料を、指定された頁まで必ず読んでおきましょう。難解な語句や漢字は必ず辞書でその意味を調べましょう。</li> <li>2. 毎回課題プリントを配布しますので、授業内容を復習しながら記述し、提出してください。</li> </ol>		
履修条件	「文章の読み方」を履修していることが望ましい。		
授業計画			
第1回	明治維新と近代化ー日本人というアイデンティティー		
第2回	国民国家の誕生ー司馬遼太郎『明治という国家』Ⅰー		
第3回	国民国家の誕生ー司馬遼太郎『明治という国家』Ⅱー		
第4回	日本の近代ー司馬遼太郎『坂の上の雲』を読むⅠー		
第5回	日本の近代ー司馬遼太郎『坂の上の雲』を読むⅡー		
第6回	日本の近代ー司馬遼太郎『坂の上の雲』を読むⅢー		
第7回	日本の近代ー司馬遼太郎『坂の上の雲』を読むⅣー		
第8回	日本の近代ー司馬遼太郎『坂の上の雲』を読むⅤー		
第9回	日本の近代ー司馬遼太郎『坂の上の雲』を読むⅥー		
第10回	国民国家の成立ー日清・日露戦争と『坂の上の雲』ー		
第11回	近代日本と外国人ー小泉八雲『明治日本の面影』を読むー		
第12回	近代日本と外国人ー小泉八雲『日本人の心』を読むⅠー		
第13回	近代日本と外国人ー小泉八雲『日本人の心』を読むⅡー		
第14回	世界の中の日本ー船曳建夫『「日本人論」再考』を読むⅠー		
第15回	世界の中の日本ー船曳建夫『「日本人論」再考』を読むⅡー		
第16回	定期試験		
テキスト	司馬遼太郎『坂の上の雲』第1巻(文藝春秋 2009年)		
参考文献・資料	授業時に紹介します。司馬遼太郎『坂の上の雲』第1巻～第8巻(文藝春秋 1999年)・司馬遼太郎『明治という国家』(日本放送出版協会 1994年)・小泉八雲『日本の心』『明治日本の面影』(講談社学術文庫 1990年)・船曳建夫『「日本人論」再考』(日本放送出版協会 2003年) 他		

成績評価の方法	<p>【主体的な学びの姿勢 (15%)、課題の提出 (25%)、試験 (60%)】の総合評価とします。</p> <p>① 出席回数が規定に満たない場合は、試験を受けることが出来ません。</p> <p>② 講義中に無許可で退出した場合は、欠席とします。</p> <p>③ 出席確認時に不在だった場合、原則としてその回は欠席とします。</p>
成績評価の基準	<p>秀 (100～90点)、優 (89～80点)、良 (79～70点)、可 (69～60点)、不可 (59～0点)</p> <p>※1～3年生は、秀～不可までの5段階評価、4年生は優～不可までの4段階評価となります。</p>
オフィスアワー	<p>火曜日 14:40～16:10 木曜日 14:40～16:10 ※これ以外の時間帯は事前に予約してください。</p>
学生へのメッセージ	<p>ぜひ、近代日本の夜明けともいうべき時代の息吹を感じてください。ドラマ『坂の上の雲』のVTRもお見せしますので、どうぞお楽しみに！</p>